

令和7年度滋賀県認知症フォーラム 実践・研究事例発表の募集について

★滋賀県では、下記のとおり「滋賀県認知症フォーラム」を開催します。
本フォーラムで発表いただく演題を募集しますので、ぜひご応募ください！

★滋賀県認知症フォーラムとは？

県内で認知症に関わる全ての方を対象として、現場での活動、実践事例や研究等を発表する場です。発表していただいた内容をもとに、参加者の皆様と取組に対する理解を深め、認知症に関する医療、介護、福祉の情報発信の場となることを目的としています。

認知症についての取組みの発表を通じて、多職種で直接意見交換することができます！
ぜひご応募ください！



▶ 令和7年度 認知症フォーラム演題募集 概要

開催日時： 令和8年1月18日(日) 13:30～17:00

開 場 ： 滋賀県庁 新館7階大会議室

参加方法： 会場参加

1. 募集する発表内容

○滋賀県内における「認知症の医療・介護・福祉」に関する現場での活動、実践事例や研究等

2. 発表対象者

○滋賀県内において、認知症の医療・介護・福祉に関する業務、活動、研究を行っている方
(医療・介護・保健・福祉・行政関係者・教育関係者・学生・団体関係者・その他認知症医療・介護・福祉に関する活動を行っている方など)

3. 発表方法等

○パワーポイントを用いたステージ発表：8演題

発表内容をパワーポイントにまとめて、1演題あたり15分(発表時間10分、質疑応答5分)で、ステージ上で発表していただきます。また、発表スライドを紙面に印刷し、会場内に掲示するとともに、可能な範囲で参加者に配布します。

○発表内容の概要を「発表要旨集」としてまとめ、参加者に配布します。

4. 発表演題の申込み方法、発表演題の採択

○別紙「演題申込書」にテーマ、内容の概要等の必要事項をご記入のうえ、令和7年9月12日(金)中に下記事務局あてにメールでお申し込みください。2～3日以内に事務局から受付済みの返信をいたします。

○募集期間終了後、事務局および令和7年度滋賀県認知症フォーラム運営会議(以下、「運営会議」という。)において、上記「演題申込書」の記載内容を確認し、発表していただく演題を決定いたします。確認結果については、令和7年10月10日(金)を目途に応募者へ連絡します。

5. 発表要旨原稿提出

- 発表演題申込後、発表要旨原稿(発表内容の要点をまとめたもの)を令和7年10月10日(金)中に下記事務局あてにメールでご提出ください。
- 提出いただいた発表要旨は、運営会議で内容を確認後(内容によっては事務局より修正を求める場合があります)、「要旨集」の原稿として印刷します。
- 提出にあたっては、必ず別紙「令和7年度認知症フォーラム＜申込みにあたっての注意事項＞」をよく確認し、「令和7年度認知症フォーラム＜発表要旨提出時チェックリスト＞」を添付してください。

6. 発表用データ等について

- 発表内容をパワーポイントにまとめ、12月19日(金)中に事務局あてメールでご提出ください。

7. お問い合わせ先、演題申込書・発表要旨原稿等の提出先

- 滋賀県認知症フォーラム事務局(滋賀県医療福祉推進課 在宅医療福祉・認知症施策推進係)
住所:〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号
電話:077-528-3522/FAX:077-528-4851
メール:ninchisyo@pref.shiga.lg.jp

■滋賀県ホームページにも掲載しております。
滋賀県 > 県民の方 > 健康・医療・福祉 > 高齢者福祉・介護
> 認知症施策の推進について > 医療従事者、介護従事者、支援者向け情報

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryouhukushi/koureisya/344478.html>



▶ (参考) 令和6年度開催状況

発表演題数	10演題 病院、診療所、認知症疾患医療センター、訪問看護ステーション、介護老人保健施設、警察、介護家族、地域包括支援センター、ボランティア団体など、様々な分野・職種の方に発表いただきました。
参加者数	143名（一般参加120名、発表者11名、その他12名） 【医療分野】医師、看護師、保健師、薬剤師、理学療法士、作業療法士 など 【介護分野】介護福祉士、介護士・介護職、介護支援専門員(主任介護支援専門員)、社会福祉士、相談員、介護保険事業所の管理者 など 【その他】警察官、家族の会会員 など
発表者・参加者からの声 (アンケート抜粋)	● 今までの取り組みを自分自身振り返るきっかけになった。(発表者) ● 色々な関わり方を学ぶ機会になった。これからの活動のヒントを得ることができた。(発表者) ● 認知症支援や介護について、様々な職種の方からバラエティに富んだ発表を聴けることは、自身にとって非常に学びや気付き、励みになっている。(一般参加者) ● 成功例だけではなく失敗例、困難例を聴けることは大変勉強になる。(一般参加者)